

令和7年度 第1回鯖江市行政評価委員会 会議録（要旨）

日時：令和7年11月10日（月）

19：00～20：10

会場：市役所4階第1委員会室

出席者：井上委員長、近藤副委員長、八田委員、上坂委員

鯖江市：環境政策課 末本課長、水野課長補佐、野路主事

産業振興課 酒井課長、熱田参事

事務局：行政管理課 峰田課長、清水参事、橋本主査

欠席者：吉村委員

1 開会（19：00～19：15）

- 1 委員紹介…事務局により紹介
- 2 正副委員長選出…事務局一任により、委員長に井上委員、副委員長に近藤委員を選出
- 3 外部評価実施手順…事務局説明
- 4 外部評価対象事業抽出…事務局説明、委員了承

2 外部評価実施

① こどもエコクラブ活動支援事業（所管：環境政策課）（19：15～19：40）

<概要説明>（末本課長）

◆事務事業調書および補足資料に基づき概要説明

<質疑応答>

委員：補助金の交付方法について見直してはどうか。1クラブにつき18,000円の助成をしているが、1クラブあたりの人数に差が大きい。立待は令和7年度にクラスを3つ作っているが、神明は1クラブのみで120人いる。

所管課 クラブの人数に制約はなく、学校の考えがあるので、クラブに委ねているのが現状。来年の2月に振り返りの場があるので、そこで先生や児童に、どれだけ関わられるのか意見を聞くなど、あり方を検討したい。

委員長 来年2月の振り返りの場で、今日の意見を出してもらってもいい。

委員 うちの子どもも参加した。参加人数が減ってもじっくり見れる面もあり良いと思う。この事業には他のボランティアも参加している。子どもがエコに関心を持っていい事業だと思う。片上は人が少ないが、少ない人数で頑張ろうと思うことができるというメリットはある。人数より、1クラブに対して交付するのもいいと思う。人数

が多いグループを分けると、クラブが増えて補助金が余らないのでは。

委員長 子どもたちが活動しやすくて効果が出るよう、いろんな選択肢があることが学校に伝わるといい。また、個別の事業のことではないが、事務事業調書にはできるだけ情報を入れてほしい。市民が調書を見て事業を判断するので、市として説明責任がある。事務局も指導をしてほしい。また、適切な活動指標がないか、見直しをしてほしい。参加児童数など。

所管課 よい指標がないか検討する。

委員長 冊子が立派だが、何冊発行しているのか。また、交流会の現状は？

所管課 交流会で参加者100名に配布し、在庫も100冊あり、計200冊発行している。

委員長 広く発信できるといいが、紙媒体以外でも良いのでは？

所管課 エコネットのホームページでも公開している。

<方向性判断>

委員長 では、委員会としての方向性をまとめる。意見の内容を踏まえると維持が妥当かと思うがいかがか。

委員 拡充という方向性はないか。子どもにお金を使うのはいいと思う。

委員 物価も上がっているので同意見。

委員長 個別意見として、委員会としては維持で。(意義なし)

② ものづくり振興交付金事業（所管：産業振興課）（19：45～20：05）

<概要説明>（酒井課長）

◆事務事業調書および補足資料に基づき概要説明

<質疑応答>

委員長 概要説明にあった成果指標の見直しとは具体的には？

所管課 メガネは年ごとに変動があるが、各業界団体の出展ブースへの参加企業数が減っている。しかし、個社向けの展示会出展補助金の申請数に減少傾向はなく、企業の展示会出展意欲が減少しているとは言えない。今後は、個社向けに新商品の開発など、前向きな指標が必要と考えている。成果指標の個別状況として、メガネ IOFT は、R6年に39件だったものが、R7年は34件に減少した。

委員 めがねモニユメントの費用対効果を検証しているか？

所管課 アンケートなどで検証する。3年目でまだ直接の効果は現れていない。鯖江に来てもらっても、工場のみでメガネらしさが伝わらない。神明地区ではめがねを軸とした産業観光を推進するための事業計画を策定している。計画実施において産地の見える化を進めていくことになると思うが、事業を進めていく中で効果を確認していきたい。

委員長 事前の効果予測はあってしかるべき。

所管課 そのとおり。

委員長 円安で海外観光客が増えたり、万博などでPRで来たかと思うが、海外との取引は増えているか。

所管課 海外という点では米国関税の影響を懸念している。まだ、出荷額に影響が出たなど、具体的相談はないが注視していく。

委員 2024年のランクがCになっているが、2025年の予算が5000万ついており、2024年に比べて1000万増額になっているが、その理由は？

所管課 眼鏡産業120周年のPR事業やメガネ人材育成事業などの予算を計上している。

委員長 C評価なら予算を圧縮したほうがいい方向になるとか、R8年の方向性が維持なら、さらにR9年もまた5000万の予算になるのか、といった議論もある。

委員 業界にも努力を求めるべき。補助金をあてにしすぎるのはダメ。自分たちの業界を良くする気持ちを持ってほしい。補助金のみで終わるのではなく、補助金の額以上の事業をやるべき。

委員長 費用対効果を求めなければならない。

委員 景気についての見立ては？

所管課 原材料や人件費が上がっており、利益を圧迫している。各々の工程で値上がりし、最終商品にどこまで価格転嫁できるか、苦しんでいる。こういったマイナス要因を受け、今後、景気にも影響が出てくるものと想定している。

委員長 補助金を呼び水に、120周年事業を契機とするなどして見直すなどもあり。

<方向性判断>

委員長 方向性については、維持というより、事務改善にして、次の展開を検討するのも1つ。(指標を見直したり、企業と一緒に業界を考えるなど)

方向性は事務改善(業務プロセスの改善)でどうか。(意義なし)

3 閉会(20:05~20:10)

委員長: 次回開催は、11月18日(火)19時から市役所4階第1委員会室